

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 小林量作 相馬俊雄	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：GIO>

前期で学習した日常生活活動（ADL）の知識を基に、動作方法、介助方法、機器・用具の使い方を体験し習得する。また、呈示された事例についてADLプログラムを立案する。

<行動目標：SBO>

1. ADLの聴取法を習得する。
2. 歩行補助具の使い方を習得する。
3. 起居動作の指導方法を習得する。
4. 車いす操作法、介助法を習得する。
5. 移乗動作介助法を習得する。
6. 事例を通してADLプログラムを立案する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・担当教員
1	ADLの聴取	1	小林、相馬
2	歩行補助具の使い方	2	相馬、小林
3	歩行補助具の使い方	2	相馬、小林
4	事例検討（疾患別）	6	小林、相馬
5	各姿勢とバランス	3	小林、相馬
6	起居動作の指導	3	相馬、小林
7	起居動作の指導	3	相馬、小林
8	起居動作の指導	3	相馬、小林
9	事例検討（疾患別）	6	小林、相馬
10	車いすの操作法	4	小林、相馬
11	車いすの操作法	4	小林、相馬
12	移乗動作の介助法	5	小林、相馬
13	移乗動作の介助法	5	小林、相馬
14	事例検討（疾患別）	6	小林、相馬

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	日常生活活動（動作）－評価と訓練の実際－	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
参考書	新版姿勢と動作－ADLその基礎から応用－ 日常生活活動（ADL）	斎藤 宏・他編 橋本 隆・他編	メヂカルフレンド社 神陵文庫	2000年 1998年
その他の資料				

【評価方法】 出席、レポート、実技試験、期末試験	【履修上の留意点】 実技ができる服装になっていること。
-----------------------------	--------------------------------